

## 第 58 回(2024 年度)グッドカンパニー大賞受賞企業の喜びの声

### 富士発條株式会社 藤井社長

この度、歴史あるグッドカンパニー大賞グランプリを受賞致しました事、大変光栄に存じ上げますと共に、心からの感謝を申し上げる次第でございます。この受賞を受けて、地元紙を始めとしたメディアにも取り上げられて、多くのお褒めの言葉をいただきました。また金融機関を始めとしたステークホルダーの皆様や、記事やSNSを見たという一般の方々からも、地元の誉れと称えていただきました。また弊社では、受賞の喜びを全従業員で分かち合うと共に、皆の誇りとして大いに胸を張ろう、と社内に発信したものでした。

それでもここに至るまでの弊社は、決して順調に推移した訳でなく、社歴65年は正に、変革の歴史そのものでありました。変革第1期は、バネからの派生製品となったハンドミキサーのステンレス製攪拌ブレードが、その代表例となりました。変革第2期は、充電式円筒電池のバネ式安全弁への挑戦。バネと電池の接点が生まれた瞬間でした。そして第3期は、携帯電話のアルミ角形電池部品の量産実現。圧倒的なシェア確保を経て、自社開発の深絞り加工技術が、世界のデファクトスタンダードにもなりました。更に第4期は、車載用角形リチウムイオン部品への展開でありました。現在の国内シェアは、自社調べで70%超。圧倒的な寡占状態をいただいています。そして最後の第5期は、この車載電池部品の本格的な海外展開フェーズです。

結びにあたり、この度のグランプリ受賞は、弊社の知名度が一気に向上すると期待される大変名誉な賞です。ので、今後の雇用拡大に確実に繋げたい想いであり。また頂戴しました副賞につきましては、まだその用途は検討中ではありますが、社会貢献に繋がる有益な使用をお約束します。最後に、ご推薦いただきました大阪中小企業投資育成株式会社様にも、改めて感謝を申し述べます。この後も、先代から受け継いだDNA、平時にこそ次のアクションを！を胸に、経営理念に掲げております、人を大切に地球の未来に貢献する、を实践すべく、引き続き精緻なものづくりに邁進して参りますので、今後ともご指導の程宜しく願い申し上げます。

### 丸大機工株式会社 菊地社長

この度は、第58回グッドカンパニー大賞において、優秀企業賞という伝統と名誉ある賞を賜り誠にありがとうございました。  
会社がこうして評価いただけたのも偏に、お客様と協力企業に恵まれ

た事や、地域の皆様によるご支援とご協力あってこそだと感じています。そして、周囲に支持される会社の礎を共に築いた歴代社員、共に挑戦を続けている現在の従業員に恵まれた事は、会社の財産であると認識しています。そんな皆さんからの御恩に、今回の受賞で少しでも報いる事ができたとすれば、何よりも嬉しく思います。

丸大機工(株)は1975年の設立以来、前述の通り多くの方々に支えられ、間もなく50周年を迎えようとしています。地域発展に寄与すべく、設立当時から「現状に満足せず挫折を恐れず勇気を持って挑戦し続けよう」を社訓に、先輩企業に追いつけ追い越せで走り続けてきました。ヤンマーディーゼル販売店としてエンジンの修理・整備から始まり、地元有力企業様からの部品加工受注を機に、機械金属加工業に本格参入しました。同社からの受注拡大により当社も大きく成長させていただきました。その後、1社依存是正を目的に、工場の増設・増築・新規設備の導入等を繰返し、機械装置を一貫生産可能な体制を構築すると同時に、技術者育成にも注力してきました。現在は、機械加工特級技能士6名をはじめとする高い技術力と最新鋭の設備で、お客様のご要望にお応えしています。

現在は国内大手メーカー様との取引が大半を占めており、半導体関連を主軸に医療分野も手掛けさせていただいています。こうしたお取引の中で、技術的な要求に加えて、脱炭素をはじめとするSDGs関連等についても水準が高まっています。これにお応えし、追随していく事で模範を示し、企業規模や業績だけでなく、少子高齢化や地球温暖化等の社会問題への取組みについても地域を牽引するべく、全社一丸となって取り組んでいます。

会社設立当時に目標とした先輩企業のように、我々も同業他社から目標とされるような企業で在り続ける為、これからも現状に満足する事無く、挑戦を続けて参ります。

最後になりますが、中小企業研究センター様をはじめとする関係者の皆様、ご推薦いただいた日本政策金融公庫様の皆様に心から厚く御礼申し上げます。この度は誠にありがとうございました。この度は身に余る賞を賜り誠に有難うございます。技術大国と言われるように、この日本においては独自の技術を持って各種産業、経済の発展に貢献し、成長を続けられている素晴らしい中小企業がたくさんございます。その中で弊社がグッドカンパニー大賞、優秀企業賞という栄えある授賞を賜りましたことに無上の喜びを感じております。また、この度の受賞が、日頃からお世話になっている取引先様、地域の皆様からのご恩に、少しでも報いることになったとするならば、何よりも有難いことであると思っております。

### 株式会社ラスコ 堀野社長

この度は、グッドカンパニー大賞優秀企業賞を受賞させていただき真に有難うございます。この栄誉を受けることができたのは、今まで支えていただいた多くの方々のおかげだと思っております。

当社の根幹は冷凍冷蔵設備の設計、製造、据付工事、保守業務です。主事業からの脱皮をはかり、これまでのノウハウを活かし得意技術とする温度制御を精密温度制御にレベルアップし、設計から保守まで自社一貫通貫で行う事業形態を推進し、現在では主に半導体・液晶産業向けの環境チャンバー・チラーなどの製品製造へとシフトチェンジしてきました。そこにはまず昨年亡くなった弊社会長の故橋口拓郎の並々ならぬ技術への探求心がお客様のニーズに合った製品作りを実現してきたと思っています。長年にわたり経営の第一線で会社を支えてくださった故橋口会長の教えがなければここまで来ることはできませんでした。改めて感謝の意を表したいと思います。また多くのお取引様並びに社員一同にも感謝を申し上げます。これからもコーポレートメッセージである『かたちにしていく力』を技術力と創造力をもって実現し、受賞企業の名に恥じないようさらなる地球環境に配慮した製品づくりでお客様や社会に貢献し続けて参りたいと思います。

最後になりますが、中小企業研究センター様をはじめ、関係者の皆様並びにご推薦いただいた東京中小企業投資育成株式会社の皆様に心より感謝を申し上げます。尚、いただいた奨励金は弊社ロッキークラブを通して、さいたま緑のトラスト基金へ寄贈させていただきます。

この度は真にありがとうございました。

### ホリカフーズ株式会社 五十嵐社長

この度は身に余る賞を頂きまして誠にありがとうございました。  
当社は、お蔭様で旧社名の「堀之内缶詰株式会社」を経て、この1月18日で創立70年を迎えさせて頂きました。新潟県工業技術総合研究所中越技術支援センターの須貝様よりこのご推薦のお話を頂いた時は大変驚きましたが、節目の年にこのような栄誉を頂き深く感謝致します。当社は本社が、雪深い新潟県魚沼市にあります。創立当初、ぜんまいや畜肉製品缶詰等を中心に生産を行っていましたが、社会ニーズの変化に対応しながら、現在は従来のラインナップに加えて、介護食、治療食、災害食等の製品を研究開発、製造、販売を一貫して行っています。「新たな技術開発及び市場開拓を積極的に進め、独自の開発型メーカー

## 第 58 回(2024 年度)グッドカンパニー大賞受賞企業の喜びの声

を目指します」の企業理念のもと、起こってはほしくない災害や病気の時、また超高齢社会が進み、医療・福祉施設の患者や利用者の栄養状態が問題視されるなか、食事を摂り辛い高齢者の方でも、適した栄養で食べやすい食事を、笑顔で美味しく食べて頂きたい、「食べることをあきらめない」をモットーに取り組んでいる食品メーカーであります。食品メーカーでありますので、お客様に「安全・安心」の製品をお届けすることはもとより、製品に込めた「心」を大切に事業を進めています。また、他方では、新潟市内に「デビフペット株式会社」を40年ほど前に立ち上げ、ペットフード業界にも取り組んでいます。

受賞の後、地元のテレビ局から大手町経団連会館での受賞・スピーチの様子を放映して頂き、新聞等でも写真入りで記事を掲載して頂きましたし、県議会議長を含めた地元の関係者はもとより、取引先からも多くのお祝いのお言葉、ご連絡を頂戴致しました。また、副賞の奨励金で全従業員にお菓子の詰め合わせを配らせて頂きました。感謝申し上げます。

頂きましたこの賞に恥じないように「100年企業」を目指し、謙虚にしておらず、更に取引先や関係者から愛される会社になるよう努力をしております。加えて、価値観が多様化するなかで、取り巻く環境はめまぐるしく変化し、厳しい経済・生活環境にはなっていますが、食を通じて、「元気のある社会づくり」に貢献出来るよう取り組んで行こうと考えていますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。大変ありがとうございました。

### 三進金属工業株式会社 新井社長

この度は、第58回グッドカンパニー大賞優秀企業賞という大変名誉ある賞を頂きまして、誠に有難うございました。お陰様で、弊社は昨年創業60周年を無事迎える中でお誉めの印を頂いた様に感じ、社員・役員一同感慨無量であります。また、地元の忠岡町商工会及び岸和田商工会議所より受賞のインタビューを受けて、新聞にも掲載されたので、大変良い宣伝広告となりました。

父である会長が3人でスタートした零細企業が、630人を超す中堅企業まで成長し、東西両工場を持ち、物流保管設備における産業用ラック製造能力では日本一となり、その関連事業の植物工場事業において、大阪・関西万博に「Osaka Healthcare Pavilion Nest for Reborn(大阪ヘルスケアパビリオン)」の前にアクアポニックスという展示物に参画するという夢物語の様な成長ストーリーを築けた事に今まで支えて頂いた全てのステークホルダーの皆様に感謝申し上げます。

頂戴致しました奨励金は創業60周年記念行事として執り行う大阪・関西万博に全社員で参加する社員旅行のイベントに活用させていただきます。これからはスペースコントロール(空間制御)で日本の物流保管設備に貢献すると共に、産業用ラック製造技術力を活かして、植物工場事業・研究設備事業・日本の森を守る「つな木プロジェクト」等を次世代の成長へと繋げる様に、社員・役員一丸となって努力してまいります。最後に、このグッドカンパニー大賞の栄誉が霞まないように、更なる飛躍を目指して、一日一日を大切にしながら、社会にとって必要不可欠な会社になれるように勇往邁進致します。

### 野添産業株式会社 野添社長

この度は名誉ある第58回グッドカンパニー大賞の優秀企業賞を頂戴し、誠にありがたく、非常に光栄に存じます。中小企業がいただける賞の中において、最も権威あるこの栄誉を頂くことができたのも、ご推薦いただきました東大阪商工会議所の皆様や常日頃より弊社をご愛顧頂いておりますお取引先様のご協力の賜物であることはもちろん、日々努力と工夫で一生懸命働いてくれている従業員全員のおかげであると考えております。

弊社は、1959年に創業し、2025年6月には法人設立60周年を迎えますが、約20年前から販売した責任のもと取り組んでまいりましたストレッチフィルムの回収および再生品製造事業が、近時のSDG'sや脱炭素などの機運の高まりとともに注目を集めるようになってまいりました。膨大な量のストレッチフィルムを販売する弊社としましては、社会的責任を果たす意味でも資源として買い取った使用済みのストレッチフィルムを再生原料に加工し、再生ストレッチフィルムやゴミ袋などを製造して販売する新たなエコシステムを構築してまいりました。この、売り手(弊社)と買い手(顧客)はもちろん、社会に貢献(地球環境保護)する「三方よし」のビジネスモデルを、今後も継続しつつ、更に進化させてまいりたいと考えております。

受賞後は、取引先や各方面より多数の祝辞やお祝品などを頂戴し、改めて受賞の重さを痛感しているところであります。また、従業員からは、「こんな賞をいただけるような会社の一員でいられて誇らしい」や「賞に恥じない仕事を頑張っていきます」といった声をもらえ、更にありがたい気持ちが強くなりました。頂きました奨励金は、弊社とグループ企業に勤務する従業員約200名の全員に均一に行き渡るよう、少し自己資金を追加しまして、“切の良い金額のクオカード”に替えさせていただ

き、感謝の気持ちを込めて全従業員に配付しました。

私たちはこの賞に恥じぬよう、これからも、環境志向型のビジネスモデルを更に昇華させ、CO2削減、省資源化につながる循環型社会の実現に貢献してまいりたいと考えていますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。この度は、このような栄誉ある賞をいただきまして、大変光栄に存じます。

### 株式会社ホリゾン 堀社長

この度は、グッドカンパニー大賞「優秀企業賞」という大変名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございました。

弊社は1946年に京都で創業し、現在では四季折々の琵琶湖の風景が広がる滋賀県高島市に本社工場を構え、印刷業、製本業、出版業様向けに、本を作るための機器「製本機器」の開発、製造、販売、アフターサポートまでを主力事業としています。一般の方には分かりやすく「本を作る機械を作る会社」と説明する場合がありますが、本だけでなく、印刷された紙を「折る、揃える、針金で綴じる、糊で綴じる、切る」という5つの工程の機器を開発する世界で唯一のメーカーでございます。また弊社は、大量生産向けではなく、多品種少量向け、究極では1冊だけ、1部だけの処理が可能な機器を提供しており、国内をはじめ、世界約120ヵ国の印刷業、製本業、出版業様、一般官公庁様の裏方としてサポートさせていただいております。

近年では、「印刷製本工場の自動化」を掲げ、設計、電子制御、ソフトウェアの開発の知見を応用し、印刷機と製本機のインライン接続や印刷工程とのデータ連係、市販の協働ロボットに自社開発した動作ソフトウェアを組み込み、手作業部分の省力化やロボット化など、製本機器の枠を超えたDX化に貢献しております。また、弊社の製造工場内の合理化のために、弊社の生産システムや電子組立マニュアルと連動して、自動搬送ロボットが部品を搬送するソフトウェアを開発し、工場内のスマートファクトリー化を推し進めております。この仕組みは、印刷業や製本業に関わらず、広く製造業様に向けて提案させていただいております。

弊社では「Change the focus、視点を変える」ことをビジョンとして掲げており、印刷業、製本業など業界の常識から視点を変える、製造現場の当たり前から視点を変える、社員一人ひとりの仕事の視点を変える、と視点を変えることで常にシンカし続けることを目指しております。このようなビジョンを念頭におき、既成概念にとらわれずに真摯に仕事と向き合っている大勢の社員がいたからこそ、今回の受賞だと感謝して

## 第 58 回(2024 年度)グッドカンパニー大賞受賞企業の喜びの声

おります。奨励金につきましては、社員への福利厚生に充てさせていただく予定です。

今回、このような素晴らしい賞をいただきましたことを励みに、国内外の多くの製造業様、また文化の発展へ少しでも貢献をさせていただきたいと存じております。この度は誠にありがとうございました。

### オカネツ工業株式会社 和田社長

この度は栄誉あるグッドカンパニー大賞の優秀企業賞を受賞し、誠に光栄に存じます。本受賞を受け、岡山市長を表敬訪問する機会をいただきました。市長からは「これからは積極的に製品開発に取り組み、岡山モノづくり企業のリーディングカンパニーとなっていきたい」という嬉しいお言葉をいただき、これからのさらなる挑戦への大きな励みとなりました。表敬訪問の様子は多くのマスメディアに取り上げられ、県内外の関係企業から多くのお祝いのご連絡や温かいお言葉をいただき、改めて受賞の重みを感じております。

これまで創業以来、熱処理事業を始め、設計、加工、組立、配送までの一貫生産体制を構築して参りました。弊社のスローガンは「夢ある挑戦」であり、常にチャレンジする精神で市場に求められる製品開発を進めて参りたいと思います。2026 年末には、さらなる生産体制の増強を図るため、新工場・新社屋を建設中です。

今回いただきました奨励金は、次代を担う若者に地学地就を推進するため、地域の大学に研究費として寄付させていただきました。地域発展の一助となればと思っております。最後になりますが、今回の受賞に際し、ご推薦いただいた岡山市役所、中国経済産業局、そして関係者の皆様に心から厚く御礼申し上げます。この度は誠にありがとうございました。

### 株式会社オーレック 今村社長

この度は、2024 年度グッドカンパニー大賞において優秀賞を賜り、誠にありがとうございます。

弊社は 1948 年の創業以来、「明るい未来づくりに貢献する」という社是のもと、「世の中に役立つものを誰よりも先に創る」という創業者精神を受け継ぎ、農業機械の開発・製造に邁進してまいりました。特に小型自走式草刈機分野では業界トップシェアを誇り、独創的な製品開発で農業現場の課題解決に貢献してまいりました。今回の受賞は、「百感は一

感に如かず」の方針のもと、徹底した「超顧客志向」で製品開発に取り組んできた当社の姿勢が評価されたものと、大変光栄に存じております。地元経済界や多くの取引先の皆様からも温かいお祝いのお言葉を頂戴し、身の引き締まる思いでございます。これもひとえに、日頃から当社を支えていただいているお客様、お取引先様、そして今回ご推薦いただいた関係者の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。また、困難な課題に果敢に挑戦し、創意工夫を重ねてきた社員一人一人の努力の結晶でもあります。この場をお借りして、全社員に心より感謝申し上げます。

今回の受賞に伴う賞金につきましては、当社が注力している農業の持続的発展と次世代育成のための活動、そして地域社会への貢献活動に充当させていただく所存です。これまでも地域の環境保全活動や教育支援などを行ってまいりましたが、より一層の社会貢献に努めてまいります。2016 年に掲げた「草と共に生きる」というブランドコンセプトのもと、今後も安全安心な食づくりと緑豊かな環境づくりに貢献してまいります。持続可能な社会の実現に向けて、より一層の技術革新と新規事業開発に挑戦し、社会から必要とされる企業であり続けることを目指してまいります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### お茶の井ヶ田株式会社 井ヶ田社長

この度はグッドカンパニー大賞特別賞をいただき、誠にありがとうございました。頂戴しました表彰状の文面は一社一社個別の内容が記載されていて、しっかりと細かい内容まで調査・検討いただいて決定されたことが伝わってまいりました。

弊社は宮城県において日本茶の小売で創業し、日本茶の製造、菓子の製造販売、観光土産分野への進出、農産物直売を含めた観光物産館の運営など、自社の得意分野の隣接市場に徐々に進出しながら発展してきたこと、また、七夕祭りや仙台初売りなどの行事に長年携わり、また地元中山間地区において観光物産館を運営することで農地維持と地区の賑わいを創出することにも貢献したことなど、事業の発展と地域貢献の面を合わせて評価いただきました。今後の展開として、令和 7 年 3 月より稼働が始まった新設の菓子工場や数年後の道の駅の運営受託など、この先の発展性なども考慮いただけたのだと認識しております。

表彰式当日には中小企業庁の方より、今後はより発展性・地域波及効果のある中堅企業を国としてもバックアップしていく旨のお話がありました。今回受賞された企業の中にはすでに売上高 100 億円以上の企業も多くいらっしゃいましたが、弊社は約 60 億ですのでぜひ中期目標として中堅企業の目安である売上高 100 億円を目指したい旨、当日もお話しさせていただきました。今後打ち出される行政の施策も活用しながら進んでまいります。

今回の表彰に関しては個人や会社の SNS でも発信させていただいたところ、普段の発信よりも多くのリアクションをいただくことができました。このような個社の積み重ねによって、グッドカンパニー大賞が益々多くの方の知るところになり、より価値の高い表彰制度になっていけばと思っております。

最後になりますが、審査いただいた中小企業研究センター様やご推薦いただいた東北経済産業局様には心よりお礼申し上げます。重ね重ねありがとうございました。

### 幸南食糧株式会社 川西社長

このたび、第 58 回グッドカンパニー大賞特別賞という名誉ある賞を頂き、賞を頂くまでに関わっていただきました全ての皆様へ感謝を申し上げます。

弊社は創業 54 年を迎えるお米を扱う米穀総合メーカーとして歩んで参りました。創業間もない頃は納品先のお客様に「ありがとうございました」と御礼も言えない会社でした。難しいことは出来ないこともあるが、小さな当たり前のことなら、意識が変われば今からでも出来るという想いから生まれた「小さな一流企業を創る」という理念を今に至るまで大切にしています。モノを売る前にまず人として第三者から一流と認められる為に、どうあるべきか、何をすべきかと社員と向き合ってから、全てが変わっていったような気がします。現在では、スーパーマーケットや外食産業へお米の卸売以外に、レトルト・冷凍食品の加工食品、心にひびくギフト事業に取り組み、また生産地の課題解決として地域活性化研究所を立ち上げて、生産者の 6 次産業化支援や担い手育成として KOHNAN COLLEGE という 2 年間で消費地研修をする生産者向けの学校を運営しています。これからも、「食でつながる笑顔を未来へ」というコーポレートメッセージを達成させるために、お米の価値と魅力を届けて、当たり前にお米を食べられる未来をつくることで、世の中に貢献して参ります。

## 第 58 回(2024 年度)グッドカンパニー大賞受賞企業の喜びの声

今回の受賞を通じて、わが創業の町である松原市の市長や副市長から、金融機関の方々からも受賞にあたり、お祝いと労いの言葉を頂戴しました。今まで取り組んできたことが第三者の方々から認められたことで、スタッフ全員の自信に繋がっています。頂戴した副賞は正社員、パートさんも含めた全スタッフへ、ビデオメッセージと手紙を添えて感謝の品をお贈り、喜びを分かち合う予算に活用させていただきます。

結びになりますが、推薦頂きました近畿経済産業局様、幸南食糧に関わっていただいている全ての皆様に心より御礼を申し上げます。この度はありがとうございました。

### アイリス株式会社 沖山社長

この度は、グッドカンパニー大賞・イノベーション事業化推進賞に選出いただき、心より感謝申し上げます。

私たちアイリスは、「みんなで共創できる、ひらかれた医療をつくる。」というミッションのもと、咽頭（のど）の画像を鮮明に撮影できる咽頭専用カメラと、その画像と医師の問診情報等をもとにインフルエンザを判定できる AI（人工知能）を開発しました。この「nodoca®」という製品は、AI 搭載の感染症診断支援医療機器として 2022 年 12 月から実際の医療機関に導入いただき、現在多くの患者様の診察に役立てられています。

アイリスには、医師をはじめ、医療従事者、厚生労働省・経済産業省ほかの行政出身者、AI 医療領域に特化したデータサイエンティスト、大手医療機器メーカー出身者など多数のプロフェッショナルが揃い、深層学習技術（AI 技術）を活用し、医師のもつ匠の技をデジタル化する AI 医療機器を開発しています。社内の多種多様な専門家が力を合わせることで、これまで日本にはなかった技術を駆使した医療機器を開発できたことを誇りに思いますとともに製品化に向けて支えてくださった多くの皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。

この度の受賞は、その理念が評価されたものであり、大変光栄に思っております。咽頭（のど）は、感染症のみならず、生活習慣病や悪性腫瘍など、さまざまな疾患の兆候が現れる部位であり、臨床でもほぼ必ず診察が行われる重要な部位です。しかしながら、従来の診察では、咽頭の画像を撮影して保存し、病気の兆候を分析することは一般的ではありませんでした。AI 技術を活用することで、咽頭画像からさまざまな疾患の兆候を検出する可能性が広がります。たとえば、感染症や糖尿病、

動脈硬化、がんなど、多岐にわたる病気の兆候を捉えることが期待されています。現在、私たちはこの技術を活用したインフルエンザの診断支援に取り組んでおり、将来的にはさらなる疾患の分析にも応用できる可能性を探求しています。今後は、国内での展開をさらに加速させ、多くの医療現場で「nodoca」を活用いただけるよう努力して参ります。

最後になりますが、中小企業研究センター様をはじめ関係者の皆様、ご推薦いただきました独立行政法人 中小企業基盤整備機構の皆様に心より御礼申し上げます。この度は誠にありがとうございました。

### 野村乳業株式会社 野村社長

この度は、たいへん名誉ある賞をいただきまして、誠にありがとうございました。野村乳業を代表致しまして、あらためまして心よりお礼を申し上げます。

当社は、広島で乳業を営んでおり、今年で創業 128 年を迎えます。現在は、乳業としての一般的な牛乳やヨーグルトなどの生産は一切行っておらず、これまでに乳業で培ってきました「発酵技術」を基盤に、より健康増進に貢献できる特徴的な商品の開発販売に注力しております。当社商品の特長は、「実感力」にあります。一般的なヨーグルトや乳酸菌飲料を「おなかの調子をよくしたい、健康になりたい」という願いをもって、食される方が多くおられます。実際におなかの調子が変わっているでしょうか？当社は、「おなかの調子を良くしたい」というお客様の強いご要望に焦点を当て、「実感力の強い」発酵食品の開発販売を取組んでおります。乳酸菌のチカラを最大限に引き出し、薬ではなく、発酵食品を通じて、「おなかの調子の変化を実感していただく」、このような、従来の乳業ではなし得なかった、「実感力の強い」新たな発酵食品の展開をしていくことで、多くのお客様、そして社員に喜びと笑顔をより多く届けていきたいと考えております。おなかの調子を良くしていくことで、病気になりにくい未病につながります。

健康に対する要求は、日本人のみならず、世界共通のニーズであります。食を通じて、発酵というものを通じて、「世界中を“おなか”から健康にしたい」という使命感をもち、新たなサービスを創り出していきたいという想いで、日々、事業改革を進めており、このような状況の中で、「イノベーション事業化推進賞」という名誉ある賞を授賞いただけますことは、社員一同この上ない喜びであり、身の引き締まる思いを感じております。

地域の経済誌やレポートにも、「グッドカンパニー大賞受賞」を大き

く取り上げて頂き、関係各所、金融機関からもたくさんのお祝いのお言葉を頂いております。中小企業研究センター様をはじめ関係者の皆様、ご推薦いただきました中国経済産業局の皆様に心より御礼申し上げます。

今回の受賞を励みに、今後も健康増進に貢献でき、お客様の笑顔や喜びにつながる取組みに注力し、努力を重ねていきたいと思っております。この度は誠にありがとうございました。「イノベーション事業化推進賞」を授賞いただきましたこと、あらためまして心よりお礼を申し上げます。